



一代で築いた会社を託したのは、 片腕として働いてきた信頼する社員

株式会社 花谷工業

代表取締役会長 花谷 敏雄さん

1966年、花谷敏雄さんは26歳の時にアルミサッシの販売・取付けを行う個人事業主として創業しました。1969年には有限会社に法人成りし、萩営業所（後に支店に変更）を設立。1973年には株式会社に改組、その後、三隅工場、東京に販売会社を設立する等、着実に事業を拡大してきました。創業から56年経った2022年には、長年同社の社員として働いてきた村田巨弘さんを後継者に決め、無事に事業承継を終えました。現在は村田さんが経営の指揮を執り、花谷さんはそのサポートを行っています。



社員の中から 後継者を選び、 経営者として 育てる

高校を卒業して美祢市の建設会社に就職した花谷さんは、7年間勤務した後に一念発起して独立。当初は、アルミサッシの販売・取付けから始めましたが、競合の激しい同業界へ危機感を覚え、同社のノウハウ等を活用す

べく、アルミサッシの製造も手掛けるようになりました。

現在の主業はアルミサッシ製造・販売で、鋼製窓枠販売及び取り付け・ガラス工一式、船舶用アルミサッシ、ゴミ箱製造・販売等を事業内容としています。中でも同社を代表する事業が、ゴミ箱の製造・販売事業です。ゴミ箱というのはいわゆる大型ゴミステーションのことで、2000年から開発に着手し、2001年には1号機が完成し販売を開始。街の景観を損なわないように自然と調和したデザインが特徴のゴミ箱は、2003年には実用新案を取得しています。

出来上がったパーツを組み合わせて1つのゴミ箱を完成させるのは、全て職人の手仕事によるものです。その丁寧な手仕事による完成度の高いゴミ箱は、関東地方でも人気を博し、シェアの90%は関東地方となっています。

また、九州一円と広島にある公共の建物と商業施設に設置されているアルミの手すりも、同社が一手に引き受けています。正に、小さな会社で大きな事



業をしているのです。

一人で起業して、徐々に会社を大きくしてきた花谷さんが数年前に直面したのは、後継者問題。同族経営で事業承継をした会社の情報収集をしていた花谷さんは、自社においては、若くて信頼のおける社員に経営を託したいと思いました。そこで白羽の矢を立てたのが、若い頃から花谷さんの片腕として働いてきた村田巨弘さんです。花谷さんは、元々技術職だった村田さんを経営者として育てるべく、傘下の会社へ派遣し修業を積ませました。村田さんはそれに応じて多くのことを学び、経営者としての資質を備えて帰山しました。花谷さんは、成長して帰ってきた村田さんに経営権を譲り、事業承継はスムーズに進みました。





ベストタイミングで 事業承継特別保証制度 を利用

80歳を前にして、次の後継者選びを考えていた花谷さんは、非常勤勤務をしていた信用金庫OBの方からのアドバイスがきっかけで、事業承継をする決心をしました。そのアドバイスとは、「個人保証の解除と金利負担の軽減」というものでした。そして山口県信用保証協会の事業承継特別保証制度を紹介されたことにも背中を押され、ちょうど良いタイミングで事業承継をすることができました。



山口県信用保証協会の事業承継特別保証制度は、保証人の引継ぎが事業承継の際のネックの1つとなっていることから、これを解決するために2020年4月にできた新しい信用保証制度です。

利用要件としては、①事業承継を3年以内に行う承継計画を有する法人、または②令和7年3月31日までに事業承継を実施した法人であって、事業承継日から3年を経過していないもの、かつ③以下の財務要件(注)を全て満たす中小企業者となります。

- (注)
- (A) 資産超過であること。
 - (B) EBITDA有利子負債倍率は15倍以内であること。
 - (C) 法人・個人の分離がなされていること。
 - (D) 返済緩和をしている借入金がないこと。
- ※EBITDA有利子負債倍率=(借入金・社債-現預金)÷(営業利益+減価償却費)

上記の要件を全て満たしている株式会社花谷工業は、事業承継特別保証を利用することができ、山口県信用保証協会・取引金融機関の審査を通過し、借り換えにより、経営者保証は解除されました。おかげで村田さんは連帯保証人になることもなく、事業承継はスムーズに行われました。

花谷さんは「信用保証協会の協力がなければ、当社は事業承継ができませんでした。承継前に私が立てていた①手形は切らない②個人保証を引き継がせないという2つのモットーをクリアし、事業承継は順調に進みました。信用保証協会での借り換えという第一ステージは終了し、第二ステージの株式の移転に向かって少しずつ進めているところです」と言っています。



です。当社は居心地が良いせいか離職者も少なく、安心して働ける会社になったのではないかと、自負しています。

また花谷さんは、商工会議所やロータリークラブなど、各界のトップの人たちとの交流が増えた中で、人としても育ててもらったと言います。そして、経営権を譲った村田さんには、会社と社員を背負う責任感を持って、彼がやりたいようにすれば良い、私の後姿を見てきたから大丈夫だろうと、大きな信頼を寄せています。

健康でいる限りは現役でいたいですが、これからは一人旅など、仕事に追われて今までできなかったこともしてみたい。家族にも恵まれ、事業家としても精一杯働いてきて、悔いのない人生を送ってきたという花谷さん。その笑顔は若々しく、更なる人生の道標に向かうのを楽しんでいるかのようでした。

後継者に寄せる 信頼と希望

創業以来、業績は上がり下がりを繰り返し、個人資産をつぎ込むなど苦しい時もあったけれど、今は金融機関からの信頼も厚く、経営も安定してきた。これも全て社員のおかげ、という花谷さんが第一に願うことは社員の幸せ



株式会社 花谷工業

所在地 〒759-3801
長門市三隅上1354-2

連絡先 TEL.0837-43-2310

H.P. <https://www.kk-hanaya.co.jp/category/info.html>